

証券化市場の動向調査のとりまとめ

～2014年度上半期の発行動向～

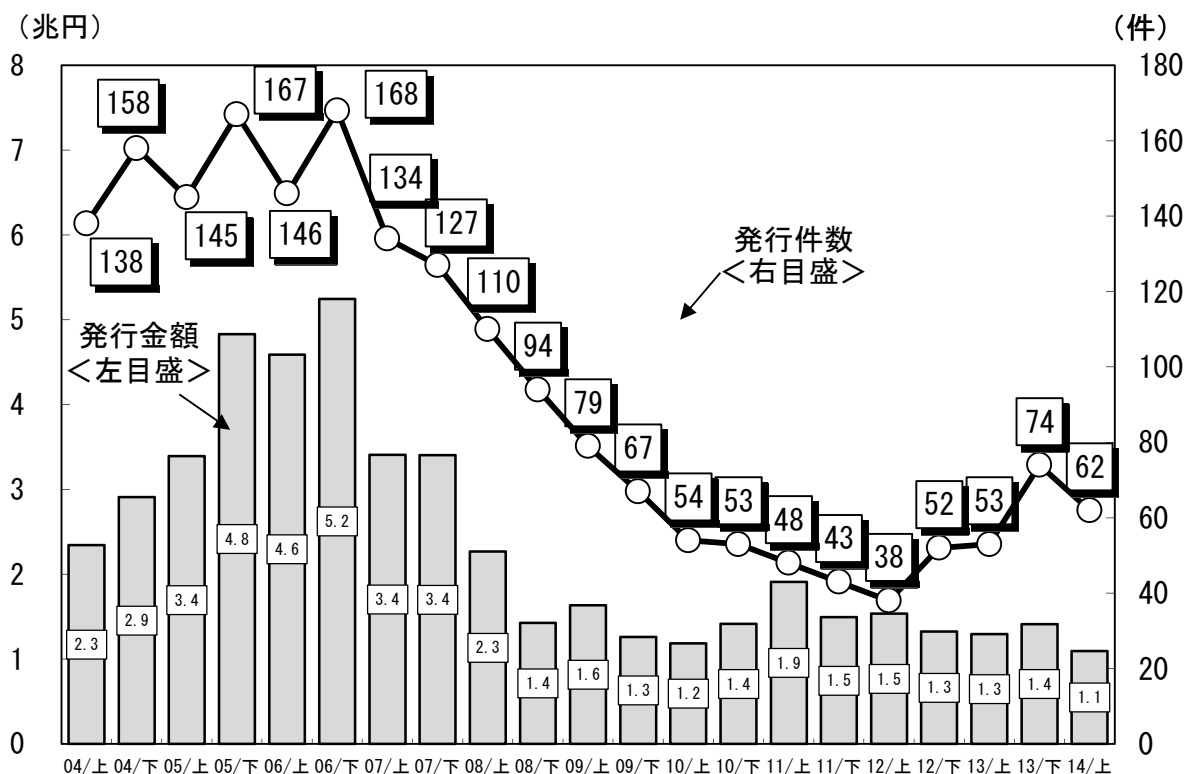
以下は、日本証券業協会及び一般社団法人全国銀行協会が毎月実施している「証券化市場の動向調査」（日本証券業協会ホームページ<<http://www.jsda.or.jp/>>参照）について、2014年度上半期（2014年4月～9月）の結果を取り纏めたものです。図表データについては、別紙をご参照ください。

1. 証券化商品全体の発行動向

2014年度上半期における証券化商品の発行動向をみると、金額は前年同期を下回った（金額1兆962億円<前年同期比▲15.3%>）。一方、件数は前年同期を上回った（件数62件<同+17.0%>）ものの前期実績（件数74件）を下回った（前期比▲16.2%>）。（図表1）。

（参考）2014年度上半期における普通社債の発行金額は5兆2,120億円（暫定数値）であった。

（図表1）証券化商品の発行金額・件数



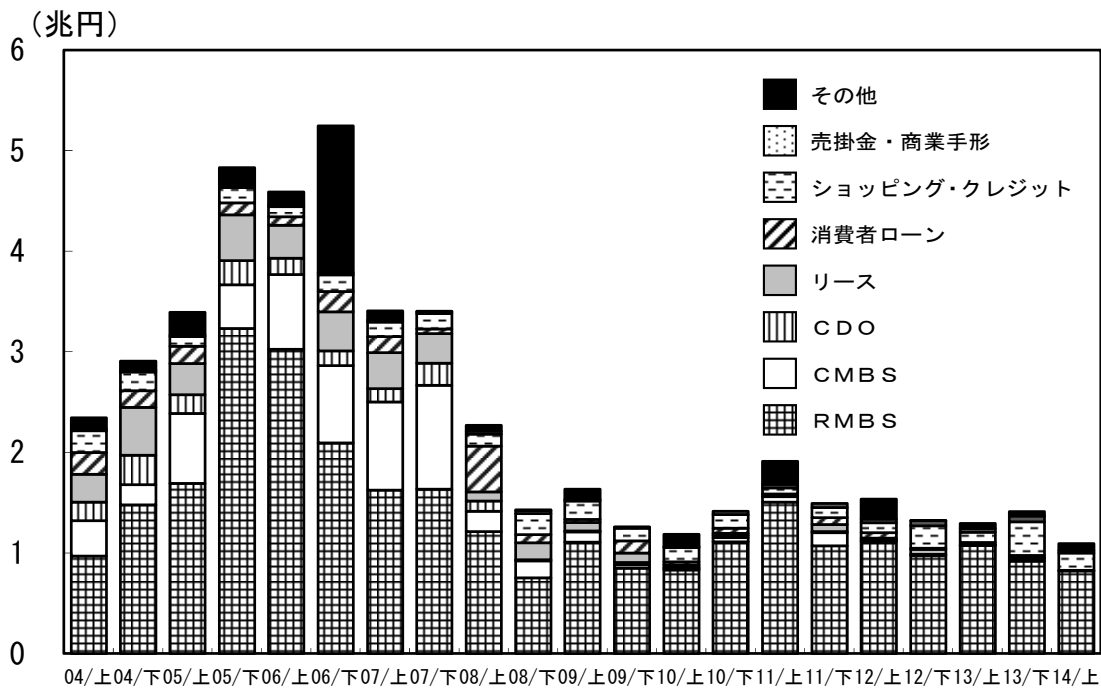
2. 裏付資産別の発行動向

2014年度上半期における証券化商品の発行金額を「裏付資産」別にみると、「CDO」、「ショッピング・クレジット」及び「その他」が増加した。一方、「RMBS」、「CMBS」、「リース」及び「売掛金・商業手形」は減少した（図表2）。

（図表2）証券化商品の「裏付資産」別発行金額

	RMBS	CMBS	CDO	リース	消費者ローン	ショッピング・クレジット	売掛金・商業手形	その他	合計
発行金額(億円)	8,235	0	55	0	0	1,711	242	719	10,962
前年同期比(億円)	▲2,526	▲5	41	▲285	0	704	▲118	209	▲1,979
前年同期比(%)	▲23.5	▲100.0	+310.5	▲100.0	- (※)	+69.9	▲32.7	+40.9	▲15.3
構成比(%)	75.1	0.0	0.5	0.0	0.0	15.6	2.2	6.6	100.0
発行件数(今期)	20	0	3	0	0	18	17	4	62
(前期)	20	2	2	1	2	22	21	4	74
(前年同期)	20	1	1	1	0	12	16	2	53

※「消費者ローン」の前年同期比(%)については、前年同期の発行がないため、「—」としている。



(参考) 裏付資産の具体的な分類は、以下のとおり。

「RMBS (Residential Mortgage Backed Securities)」

：住宅ローン債権、アパートローン債権

「CMBS (Commercial Mortgage Backed Securities)」

：商業用不動産担保ローン債権、商業用不動産

「CDO (Collateralized Debt Obligations)」

：企業向け貸付債権、社債、CDS等

「リース」：リース料債権

「消費者ローン」：消費者ローン債権、カードローン債権

「ショッピング・クレジット」：ショッピング・クレジット債権、オートローン債権

「売掛金・商業手形」：売掛債権、手形債権

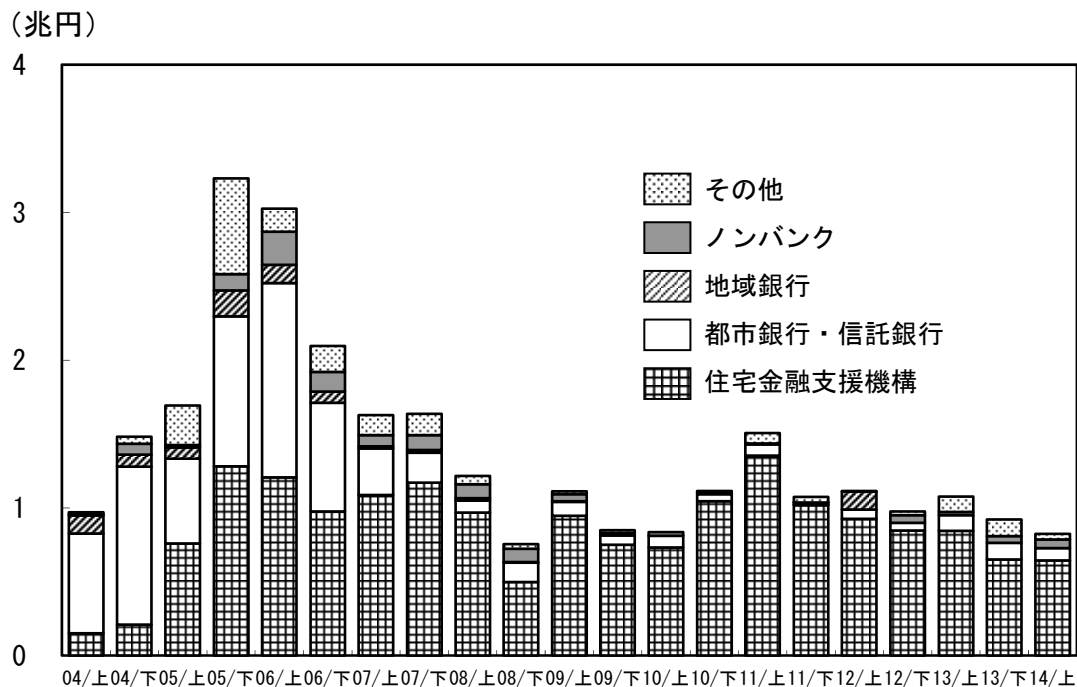
「その他」：基金債権、事業キャッシュフロー、診療報酬債権等

RMBSの発行動向

① オリジネーター別

RMBSの発行金額（8,235億円）を「オリジネーター」別にみると、「住宅金融支援機構」が78%（6,440億円）を占めた（図表3）。

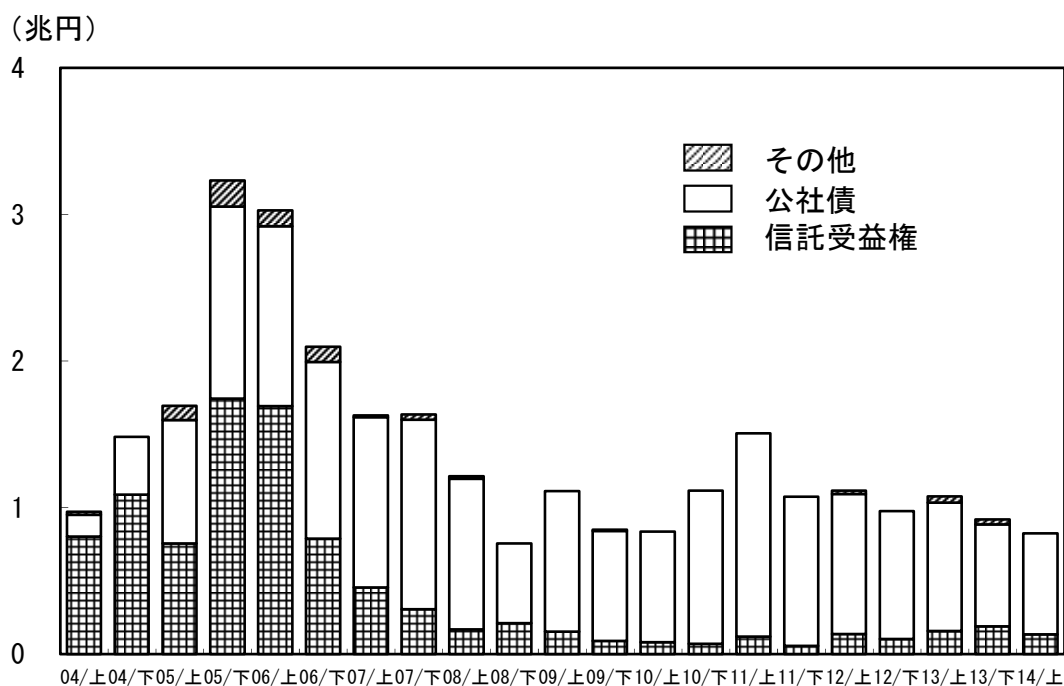
（図表3）RMBSの「オリジネーター」別発行金額



② 発行形式別

RMBSの発行金額（8,235億円）を「発行形式」別にみると、「公社債」が84%（6,895億円）を占めた（図表4）。

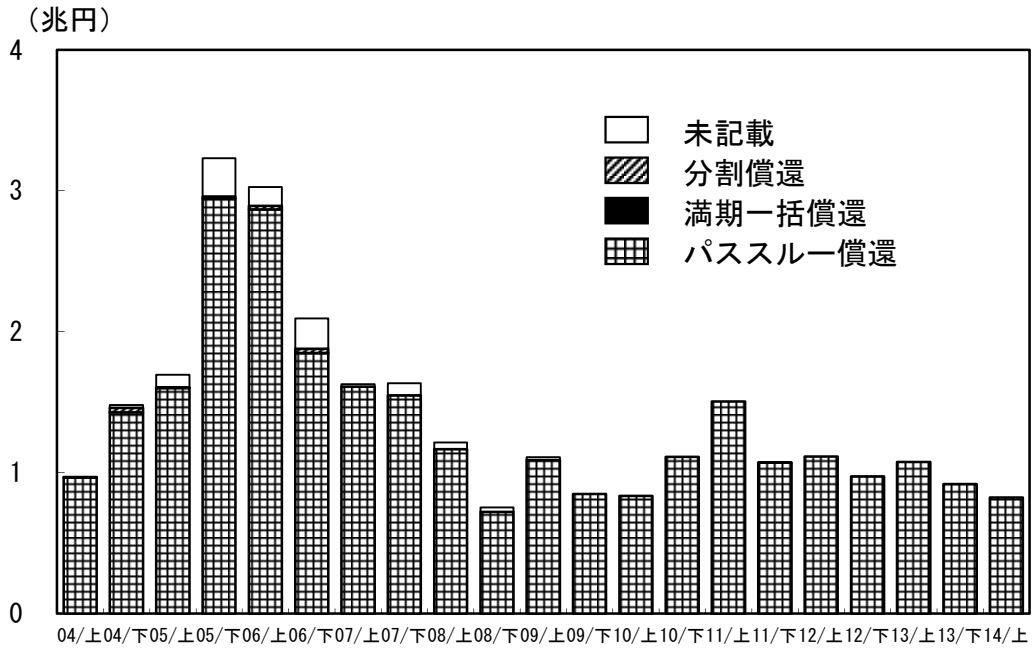
（図表4）RMBSの「発行形式」別発行金額



③ 償還方法別

RMBSの発行金額（8,235億円）を「償還方法」別にみると、すべてが「パススルー償還」であった（図表5）。

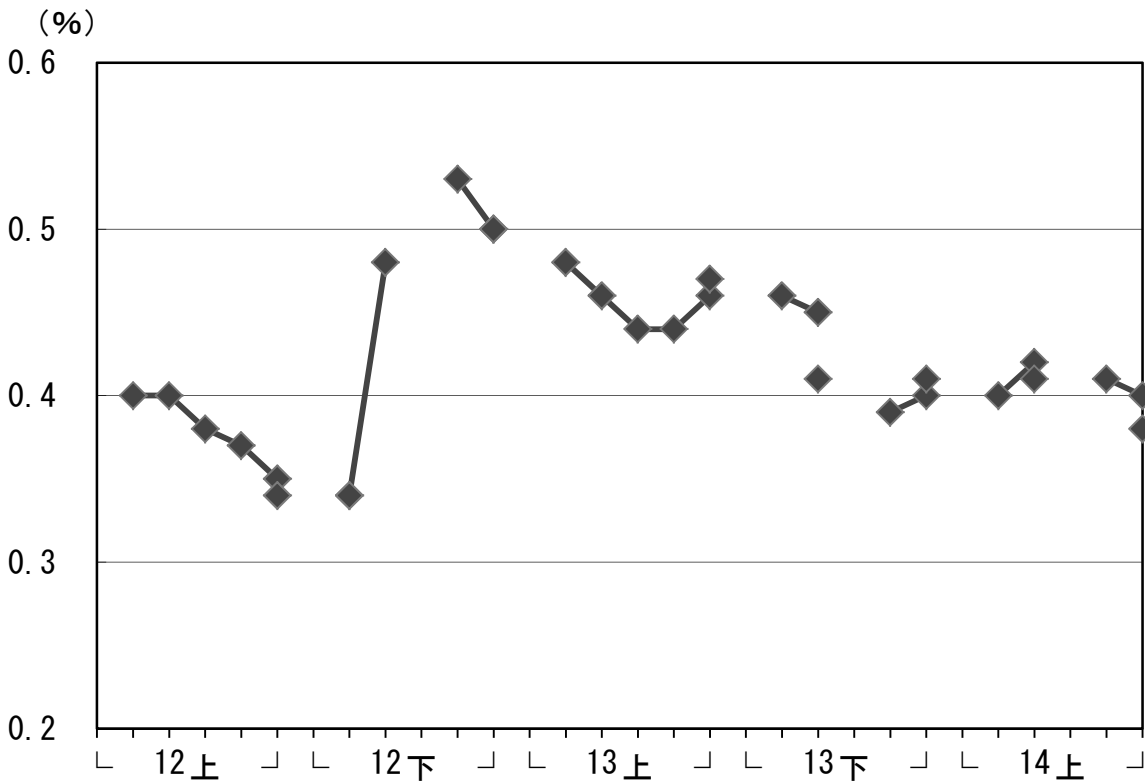
（図表5）RMBSの「償還方法」別発行金額



④ 発行時のスプレッド

住宅金融支援機構RMBS（月次債）のローンチスプレッド（表面利率と条件決定時の国債利回りとの差）は、2014年度上半期においては2014年6月発行分まで拡大した後、縮小に転じた（図表6）。

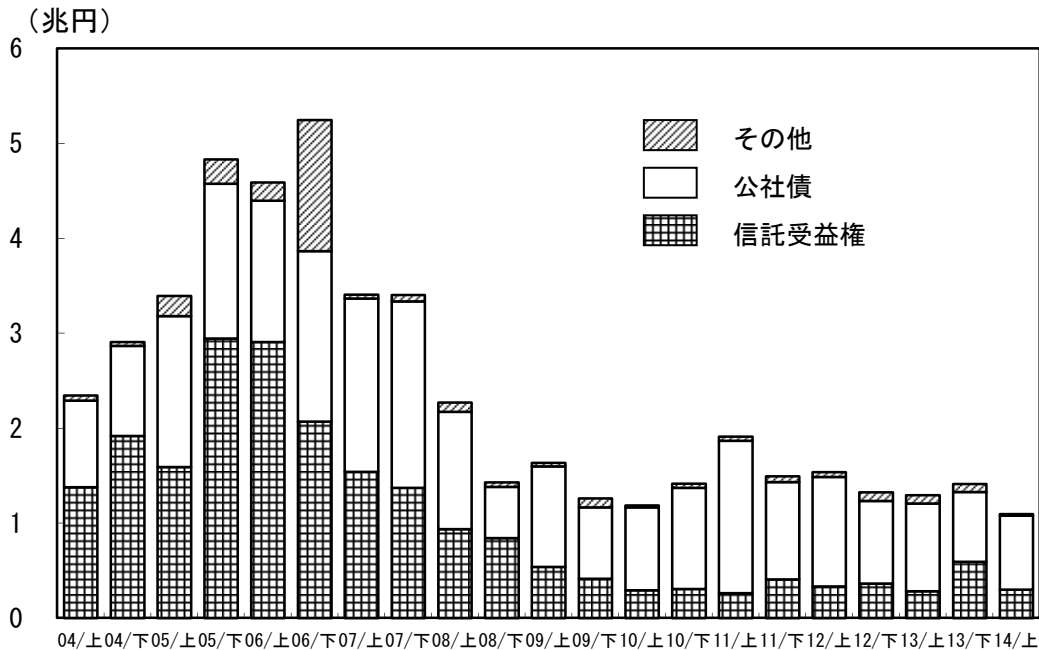
（図表6）住宅金融支援機構RMBSのローンチスプレッド



3. 発行形式別の発行動向

2014年度上半期における証券化商品の発行金額（1兆962億円）を「発行形式」別にみると、「公社債」が71%（7,808億円）を占め、次いで「信託受益権」が27%（3,002億円）を占めた（図表7）。

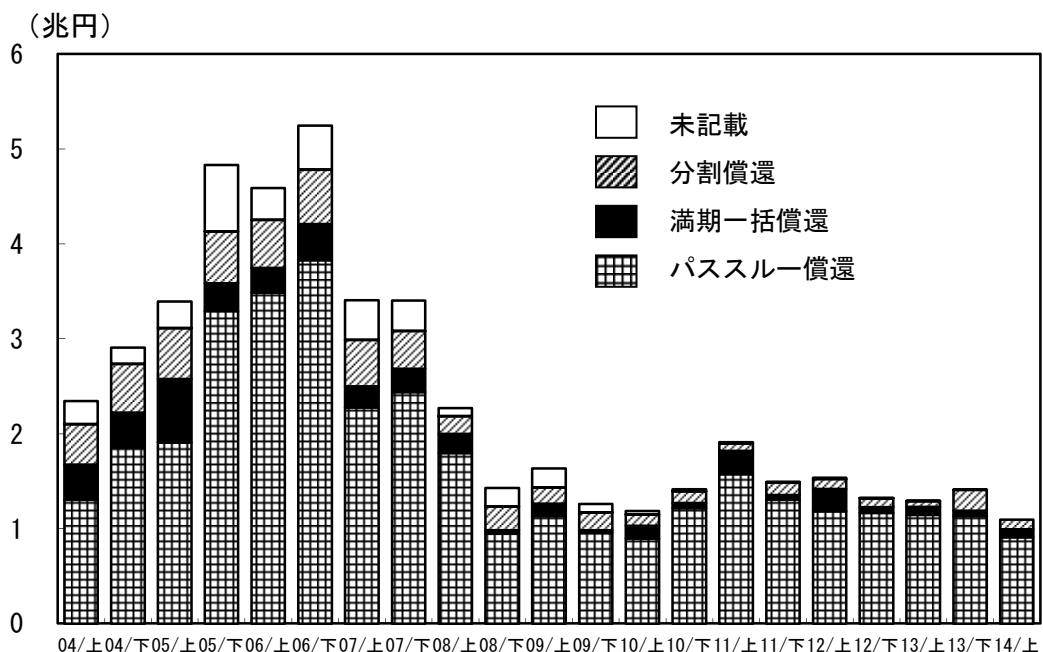
（図表7）証券化商品の「発行形式」別発行金額



4. 償還方法別の発行動向

2014年度上半期における証券化商品の発行金額（1兆962億円）を「償還方法」別にみると、「パススルー償還」が83%（9,099億円）を占めた（図表8）。

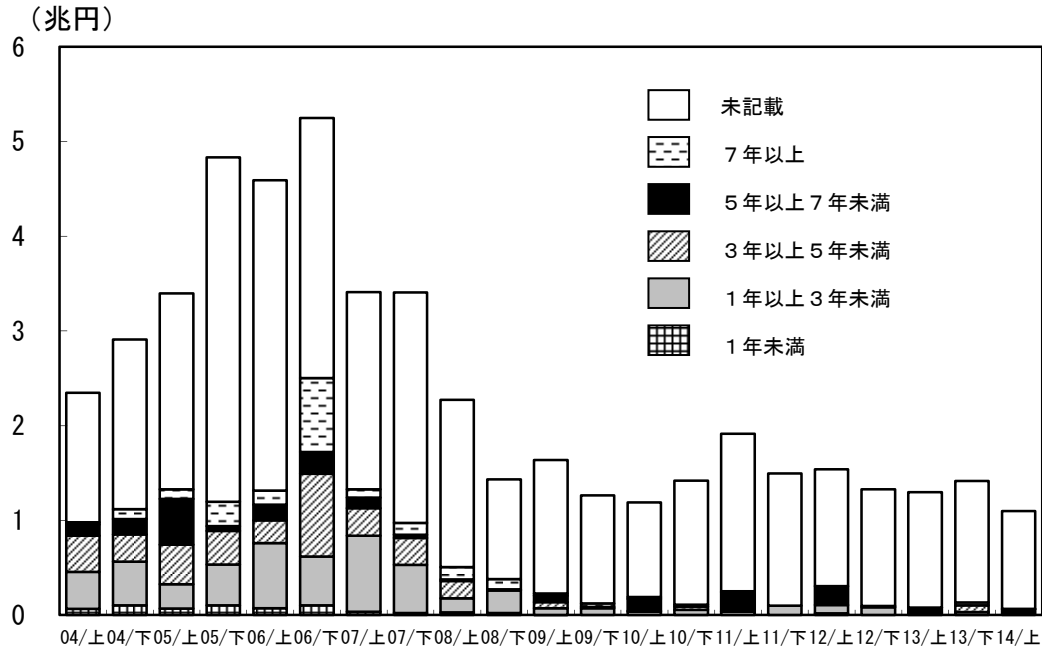
（図表8）証券化商品の「償還方法」別発行金額



5. 予定／平均年限別の発行動向

2014年度上半期における証券化商品の発行金額（1兆962億円）を「予定／平均年限」別にみると、「未記載」が94%（1兆307億円）を占めたが、記載のある中では、「5年以上7年未満」が5%（600億円）と最も多かった（図表9）。

（図表9）証券化商品の「予定／平均年限」別発行金額



6. 格付別の発行動向

2014年度上半期における証券化商品の発行金額（1兆962億円）を「格付」別にみると、「AAA」が84%（9,153億円）を占めた（図表10）。

（図表10）証券化商品の「格付」別発行金額

